

100th

おかげさまで100周年

# ～安全・景観・環境の向上を実現し、地域社会に貢献します～

# 株式会社 サンスパック 創業100周年

## きょう3月10日(火)創業記念日

地域のインフラ整備を担う株式会社サンスパック(下関市田中町15番7号)が本日、創業100周年を迎えた。大正9年(1920年)3月10日、合資会社山陽商会は、ワイヤーロープなど資材を販売する商社として創業。戦後、モータリゼーションの普及による道路整備拡張といった時代の変化に伴い、建設業に進出。現在、「のり面保護工事や交通安全施設・橋梁補修工事など」のインフラ整備を担い、地域にとってなくてはならない存在となっている。「アメニティ創造企業」を掲げる同社の山本修司社長と、次の世代を担う山本晃平取締役に、創業100年を迎えた今の気持ちを語ってもらった。

100周年は大きな区切りであり、何としましても100周年は私が社長として到達したいと思っていました。生まれたのは下関ですが父の仕事の関係で中学校までは福岡市で育ちました。それでも祖母が下関に住んでいたこともあり、冬休みは下関で過ごしました。高校から上京してからは下間に戻つて高校を継ぎ思ついたため、父からそろそろ戻るよう言われても、抵抗はありませんでした。しかし、社長になつてからは、責任の重さに押しつぶされそうになることができ、大変うれしく思います。そして、今日から気持ちを新たにしつつ、次への第一歩を踏み出します。

転換点はありましたか？

—100年を振り返って大きな転換点はありましたか？

身で一番力を置かれたこと

—社長に就任して25年目、ご自身で一番力を置かれたこと

—積極的にボランティア活動を推し進めています。地域社会における元気な企業の役目とは？

その思いを聞かせてください



土砂災害防止を目的とした「のり面保護工事」

100周年は大き区切りであり、何としましても100周年は私が社長として到達したいと思っていました。生まれたのは下関ですが父の仕事の関係で中学校までは福岡市で育ちました。それでも祖母が下関に住んでいたこともあり、冬休みは下関で過ごしました。高校から上京してからは下間に戻つて高校を継ぎ思ついたため、父からそろそろ戻るよう言われても、抵抗はありませんでした。しかし、社長になつてからは、責任の重さに押しつぶされそうになることができ、大変うれしく思います。そして、今日から気持ちを新たにしつつ、次への第一歩を踏み出します。

わったのですね

建設業を始めた頃は、道路を新しく造り拡幅する時代でしたから、安全施設やのり面も新設の大工事が多かつたです。しかし、最近は道路や橋梁の安全施設が古くなり取り替えなどの補修工事がのり面では民間の急傾斜地崩壊対策工事が増えています。工法としては吹付法枠工やアンカーワークが中心です。



取締役社長 山本修司

昭和30年 3月4日生まれ  
鹿児島県立農業高等学校卒業  
日経実業株式会社(現 日立株式会社)入社  
昭和57年 取締役就任  
平成7年 取締役社長(代表取締役)就任  
現在に至る

毎年、社員全員と協力業者で取り組む「安全衛生大会」



—企業として発展し続けるために最も大切なことは何でしょうか？

—企業として発展し続けるために最も大切なことは何でしょうか？

—これからこの世代に期待すること

—これからの世代に期待すること

—社長から学んだこと

—今後の方針と将来に向けた取り組み

社員や協力業者、地域の方々―全てに感謝持ちを新たに、次の第一歩を

工事をしている業者が、工事中に事故をしたのではなく、安全に配慮されなくなっています。他の工事者の見本となるべく、安全に配慮

して施工をしなければなりません。そこで、安全の大切さを再確認して、労災防止、安全運転、健康などを強めます。また、平成21年に労働安全衛生マネジメントシステムの認証を取り得し、会社全員や現場ごとにリスクアセスメント、危険予知活動などに取り組んでいます。

平成元年から会社で毎年、安全衛生大会を協力業者と共に開催しています。これが、積極的に地域社会のためにはボランティア活動をしていきたいと考えています。

工事をしている業者が、工事中に事故をしたのではなく、安全に配慮されなくなっています。他の工事者の見本となるべく、安全に配慮

して施工をしなければなりません。そこで、安全の大切さを再確認して、労災防止、安全運転、健康などを強めます。また、平成21年に労働安全衛生マネジメントシステムの認証を取り得し、会社全員や現場ごとにリスクアセスメント、危険予知活動などに取り組んでいます。

事業者や地域社会の皆様に喜んでもらえることを目指しています。

そして、仕事以外でも当社にできることがあります。それが、積極的に地域社会のためにはボランティア活動をしていきたいと考えています。

—これからこの世代に期待すること

事業案内

のり面保護工事 交通安全施設工事	工場環境整備工事 公園施設整備工事	橋梁補修工事 塗装工事
■資材販売		
■のり面保護工事：のり面緑化・吹付法枠工・永久アンカー・鉄筋挿入工・高エネルギー吸収落石防護網・板構造モルタル再生工 ■交通安全施設工事：防護柵、標識、区画線、鋼管柱補修		
■橋梁補修工事：コンクリート補修、伸縮装置施工、高欄設置 ■塗装工事：建物外壁塗装、橋梁・道路塗装		
■工場・住宅環境整備工事：防音目隠し扉、太陽光発電システム、防草シート、遮熱塗料、塗床改修、エクステリア ■公園施設整備工事：雨水貯留浸透システム、照明灯、遊具、芝生保養材		
■資材販売：害虫侵入防止柵、環境商品、ペントナイト系遮水シート、保安・土木・港湾・産業資材		

のり面保護・交通安全施設・橋梁補修工事施工 山口県知事許可(特-28)第18504号  
〒750-0008 山口県下関市田中町15番7号  
TEL(083)231-3434 FAX(083)231-0354  
URL:<https://www.sunspac.com/> サンスパック 検索Q



主な認定・表彰

●ISO認証取得

品質マネジメントシステム(ISO9001)、環境マネジメントシステム(ISO14001)、労働安全衛生マネジメントシステム(ISO45001:IBOHAS18001)の認証を取得しています。3つのシステムのマニュアルを統合して、平成29年に認定されました。

●BCP認定制度(中国地方における地域建設業の事業継続計画認定制度)

災害時において、被害を受けた生活インフラの早期機能回復を図るために、官民一体となった災害応急対策が求められています。中でも被災地での応急復旧作業を担う地域建設業の果たす役割は極めて大きいと言えます。同計画書を社員に配付し、年に一度訓練を実施しています。当社は平成26年に認定されました。

●やまぐち健康経営企業認定制度

山口県が全国健康保険協会会員部などの保険者と協働して「健康経営」に取り組む企業を認定する制度。「健康経営」は、従業員の健康管理を、経営的な実視点から収益性などを高める投資と考え、戦略的に実践することです。当社は平成29年に認定されました。

アメニティ創造企業  
株式会社サンスパック

おかげさまで100周年

～安全・景観・環境の向上を実現し、地域社会に貢献します～

### 社名の由来

旧社名山陽商会のサンヨー・太陽(サン、Sun)、環境空間・場所・宇宙(スペース、Space)、創造する者(Creator)を結合したサンヨー・スペース・クリエイターの略称として平成4年に社名を「株式会社サンスパック」と改称しました。

### シンボルマーク

シンボルマークは、太陽と環境(スペース)を表した円とその中に社名の英文頭文字「S」を大空や未来に羽ばたく鳥をイメージしたデザイン。3本のラインは、会社の経営理念の中向上去を目指している「安全・景観・環境」を表し、マリンブルーをコーポレートカラーと定めました。

### 100年の歩み

大正 9年 3月	合資会社山陽商会として創業 (代表社員:山本徳一)
昭和24年12月	株式会社山陽商会を設立(資本金300万円)
昭和25年 4月	合資会社山陽商会を合併(同330万円)
昭和28年 5月	代表取締役社長に山本達也が就任
昭和45年12月	山口県知事建設業登録
昭和48年 2月	山口県知事許可土木工事業 同 4月 資本金増資500万円 同 4月 山口県知事許可とび・土工事業 昭和50年 5月 山口県知事許可塗装工事業 昭和52年 6月 資本金増資1,000万円 昭和60年 3月 山口県知事許可造園工事業 平成 2年12月 資本金増資1,800万円 平成 4年 3月 資本金増資2,000万円
同 12月	商号の変更、株式会社サンスパック
平成 7年 4月	代表者の変更 取締役社長 山本修司
平成 9年 6月	建設大臣許可電気工業事業
平成14年 3月	ISO9001:2000認証・登録
同 8月 資本金増資3,000万円	
平成21年 2月	OHSAS18001:2007認証・登録
同 9月	ISO14001:2004認証・登録
平成22年 8月	ISO9001:2008認証・登録
平成29年 8月	ISO14001:2015認証・登録 ISO45001:2018(EHOSHAS18001)認証・登録
令和 1年 8月	ISO45001:2018(EHOSHAS18001)認証・登録
令和 2年 3月	創業100周年



「安全第一」をスローガンに仕事に励む社員たち

